

原 寛*: 東亜植物註解 (14)**

Hiroshi HARA*: Comments on the East Asiatic plants (14)

53) シソバタツナミ類 タツナミソウ類を私は40年程前に調べたが、その頃はまだ基準標本の扱い方が今ほど厳格でなかったので、ここにお詫びして訂正し一応再整理しておく。この仲間の分類についてはなお気になる問題が残されているが、今後、機会があれば再検討して改めたいと思っている。

学名については *Scutellaria laeteviolacea* Koidzumi の名が前原、南肥植物誌 (1931) に初めて発表されたので、当時は前原氏が採集した南肥産で小泉先生がそう同定されたものを基準形と考えた。しかしこの発表は植物分類地理にも再録されている通り、記載も標本の引用もなく、新種としてではなく *S. indica* var. *japonica* f. *humilis* Makino に対し新種名をあたえたものである。したがって *S. laeteviolacea* の基準標本は、後者の基準標本、即ち四国、土佐、宝賀勝 (牧野 Jun. 3, 1892) そのものである。幸にこの標本は都立大学牧野標本館にあり、これを借覧することができた (Fig. 1)。これは花をつけた数個体からなり、花軸、茎、葉柄などに開出した毛が多く長さ 1 mm におよぶ長毛も混っているが、茎下部には下向毛のみみられる。それ故この標本は、私が1949年に扱ったようにツクシタツナミソウの矮小形ではなく、反って本州中西部や四国に見られるイガタツナミソウの方に近いものである。

ツクシタツナミソウは花軸、茎の上中部、葉柄などに上曲した屈毛があり (下部では下曲した毛が見られる)、毛は通常長さ 0.3 mm 位 (時に 0.5 mm)、花筒の茎部は円く曲って上向し、九州各地 (対馬をふくむ) に広く産し、東へ四国北半 (香川県まで) と中国地方西部 (鳥根県、広島県まで) が知られている。九州では西南側所々の山地に小泉先生がシソバタツナミとされた矮小形が見られる。

一方シソバタツナミという和名の適用も難しい問題である。この名は古くから園芸的に矮生で葉が紫色をおび花が大きいタツナミソウの一種に用いられているが、必ずしも単一の分類群を指したのではなく、地方によって異なったものに使われたようである。飯沼愨齋の草木図説草部巻11にも載っているが、これはホナガタツナミソウであるかもしれない。一方、帝国大学理科大学植物標品目録 154 (1886) には '*Scutellaria indica* L. var. *japonica* Fr. et Sav. シソバタツナミ' として関東産の標本が引用されている。牧野先生は上述のように四国土佐のものをシソバタツナミソウにあて、f.

* 東京大学 総合研究資料館植物部門。Department of Botany, University Museum, University of Tokyo, Hongo, Tokyo.

** 本誌 59: 33-41 (1984) から続く。

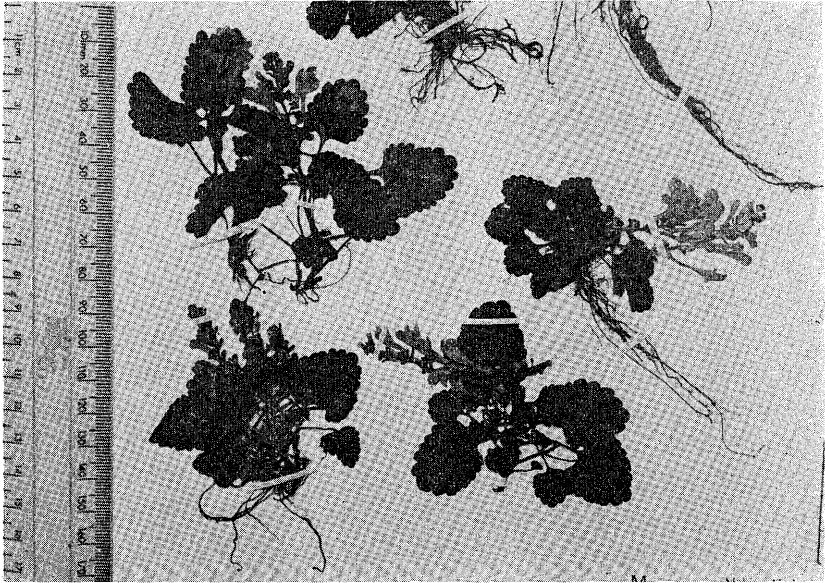


Fig. 1. *Scutellaria indica* var. *japonica* f. *humilis* Makino. A part of the holotype (MAK).

humilis Makino (1896) の名をつけられた。その後、小泉先生はシソバツツナミは独立種であると考えられ、1924年 *S. japonica* Morr. et Decne. にあてられたが、その名のもが別物であると気づかれて *S. laeteviolacea* Koidzumi (1931) の新名をあたえられた。またシソバツツナミと称している園芸品はツクシタツツナミソウである場合が多い。このように色々な型に用いられてきたが、もしシソバツツナミの名を用いるのなら、学名のことも考慮して *S. laeteviolacea* Koidzumi の和名として残すのが一番やり易いと思う。

Scutellaria laeteviolacea Koidzumi in Mayebar, Fl. Austro-Higo. 51 (1931); in Acta Phyt. Geobot. 1: 23 (1932).

S. indica L. var. *japonica* Franch. et Sav. f. *humilis* Makino in Bot. Mag Tokyo 10: (314) (1896); 18: 46 (1904)—Matsumura, Ind. Pl. Jap. 2(2): 551 (1912).

?*S. indica* var. *humilia* Makino in Inuma, Sōmoku-dzusetsu ed. Makino, 3: 847, t. 685 (1913), nom. subnud.

S. japonica Morr. et Decne. sensu Koidzumi in Bot. Mag. Tokyo 38: 99 (1924), p. p.

S. ussuriensis var. *typica* f. *humilis* (Makino) Kudo, Labiat. Sino-Jap. 257

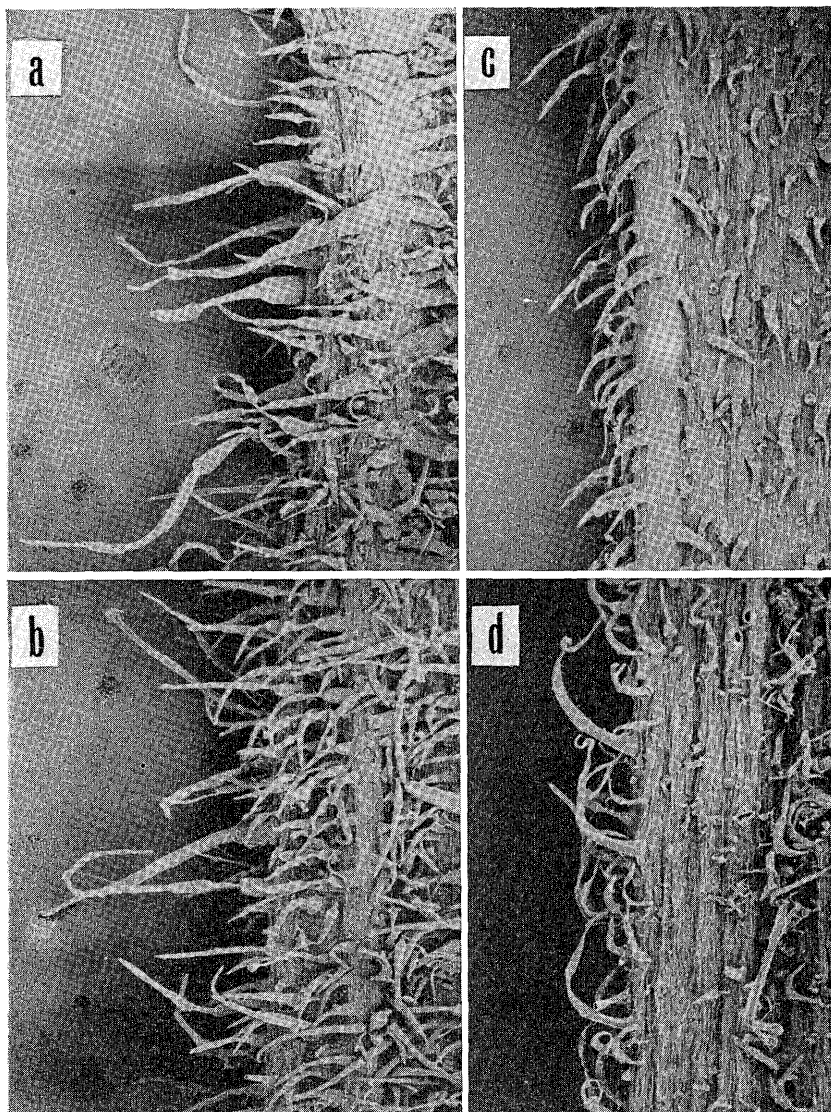


Fig. 2. Hairs on raceme-axis of *Scutellaria*. SEM-photographs, $\times 100$. a. *Scutellaria indica* f. *humilis* Makino (type). b. *S. Kurokawae* Hara from Mie Pref. c. *S. Maekawae* Hara from Mie Pref. d. *S. kiusiana* Hara from Fukuoka Pref.

(1929), p. p.

S. humilis (Makino) Nakai in Cat. Sem. Hort. Bot. Univ. Tokyo 1932: 35 (1932), quoad basionym tantum.

Nom. Jap. Shisoba-tatsunami.

Holotype of *S. indica* var. *japonica* f. *humilis* Makino: Shikoku. Tosa, Aki-gōri, Hōgashō (T. Makino, Jun. 3, 1892, fl., MAK). Fig. 1.

Distr. S. C. and W. Honshu, Shikoku, and Kyushu.

S. laeteviolacea var. **Kurokawae** (Hara) Hara, comb. nov.

S. Kurokawae Hara in Journ. Jap. Bot. 13: 603 (1937); Enum. Sperm. Jap. 1: 227 (1949)—Ohwi, Fl. Jap. 1001 (1953): ed. Eng. 771 (1965); ed. rev. 1150 (1965)—Murata in Satake et al., Wild Flow. Jap. 3: 77 (1981).

S. Maekawae var. *Kurokawae* (Hara) Murata in Acta Phyt. Geobot. 17: 11 (1957)—Kitam. et al., Col. Ill. Herb. Pl. Jap. 1: 185 (1957).

Nom. Jap. Iga-tatsunamisō (Hara 1937).

Distr. C. and W. Honshu, and Shikoku.

S. laeteviolacea var. **abbreviata** (Hara) Hara, stat. et comb. nov.

S. japonica var. *ussuriensis* f. *humilis* Matsumura et Kudo in Bot. Mag. Tokyo 26: 296 (1912), nom. nud.; non *S. indica* var. *japonica* f. *humilis* Makino.

S. japonica Morr. et Decne. sensu Koidzumi, l. c. (1924). p. p.

S. ussuriensis var. *typica* f. *humilis* Kudo, Labiat. Sino-Jap. 257 (1929), p. p.

S. laeteviolacea f. *concolor* Honda in Bot. Mag. Tokyo 51: 57 (1937).

S. abbreviata Hara in Journ. Jap. Bot. 13: 604 in clave (1937); Enum. Sperm. Jap. 1: 225 (1949)—Ohwi, Fl. Jap. 1001 (1953); ed. Eng. 771 (1965); ed. rev. 1149 (1965).

S. abbreviata f. *concolor* (Honda) Hara, l. c. 225 (1949).

S. Maekawae f. *abbreviata* (Hara) Murata in Acta Phyt. Geobot. 17: 11 (1957); l. c. 77 (1981).

Nom. Jap. Tōgoku-shisoba-tatsunami (Hara 1937).

Lectotype of *S. abbreviata*: Honshu. Motohachiōji, Shiroyama (T. Satow n. 3229, Jun. 14, 1916, fl., TI).

Distr. Honshu (Miyagi Pref. west to Kinki Distr.).

S. laeteviolacea var. **Maekawae** (Hara) Hara, comb. nov.

S. Maekawae Hara in Journ. Jap. Bot. 12: 798, f. 41 (1936); Enum. Sperm. Jap. 1: 227 (1949)—Ohwi, Fl. Jap. 1002 (1953); ed. Eng. 771 (1965); ed. rev. 1150 (1965)—Kitam. et al., Col. Ill. Herb. Pl. Jap. 1: 185 (1957)—Murata in

Wild Flow. Jap. 3: 77 (1981).

S. Maekawae var. *pubescens* Hara, l. c. 799 (1936).

Nom. Jap. Honaga-tatsunamisō (Hara 1936).

Distr. Honshu (Tōkai and Kinki Distr.).

Scutellaria kiusiana Hara in Journ. Jap. Bot. 12: 795, f. 38 (1936).

S. japonica Morr. et Decne. in Ann. Sci. Nat. ser. 2, 2: 315 (1834), fide Nakai; non *S. japonica* Burmann (1768).

S. kiusiana var. *discolor* Hara, l. c. 797 (1936).

S. laeteviolacea Koidzumi sensu Hara, Enum. Spermat. Jap. 1: 227 (1949)—Ohwi, Fl. Jap. 1000 (1953); ed. Eng. 771 (1965); ed. rev. 1149 (1965)—Kitam. et al., Col. III. Herb. Pl. Jap. 1: 185 (1957).

S. laeteviolacea var. *discolor* (Hara) Hara, Enum. Sperm. Jap. 1: 227 (1949), incl. f. *kiusiana* (Hara) Hara—Ohwi, Fl. Jap. 1001 (1953); ed. Eng. 771 (1965); ed. rev. 1149 (1965)—Kitam. et al., l. c. 185 (1957)—Murata in Satake et al., Wild Flow. Pl. 3: 77 (1981).

Nom. Jap. Tsukushi-tatsunamisō (Hara 1936).

Distr. W. Honshu (Shimane, Hiroshima, Yamaguchi Pref.), N. Shikoku, and throughout Kyushu (incl. Tsushima).

54) **コバギボウシの学名** ギボウシ類の中で最も普通に広く見られる本種の学名については早くから気になっていたが、最近学名の適用が厳格に論議されるようになったので、今の見解をのべておくことにした。一番古い *Aletris japonica* Thunb. (1780) はウブサラ大学にある標本を基準としてコバギボウシと考えられるが、残念ながら *Hosta japonica* Tratt. (1814) が、Thunb. の名とは別にタマノカンザンにつけられているので、この種名を *Hosta* の下で使うことができない。また *Hemerocallis lancifolia* Thunb. (1794) は *H. japonica* を異名に引用しているので、現行命名規約63条により不要名とみられ使用できない。それ故、大井博士は次に古い *Funkia albomarginata* Hook. (1838) に基いて *Hosta albomarginata* (Hook.) Ohwi (1942) の組合せを発表され、近年日本ではこの名が広く用いられている。しかし Hooker の名より2カ月前 *Hemerocallis Sieboldii* Paxton の名があり、Stearn (1931) も Hylander (1954) も気づいていた。Hylander はこの種名がトウギボウシの *Hosta Sieboldiana* (Hook.) Engl. と混乱をひきおこし易いことと、更にトウギボウシに *Funkia Sieboldi* Lindl. (1839) の名が用いられたこともあげて、この種名をコバギボウシに用いることを避けた。しかし J. Ingram (1967) が遂に *Hosta Sieboldii* (Paxton) の新組合せを発表しこれをコバギボウシの正名とした。Paxton の彩色図は Siebold が1833年頃日本から採れたものに基づいており、葉縁に黄白色の覆輪が入っていて Hooker の *albomarginata*

とほぼ一致する。もっとも前川博士 (1950) は *f. Sieboldii* は濃黄覆輪で葉身と葉柄の区別がはっきりしないとのべて別の園芸品種キフクリンギボウシとして扱っている。一方 Hylander (1954) と Ingram (1967) はこの両者は共に Siebold がもちこんだ同一物であることは疑う余地がないとのべている。園芸的に細かく見ると多少の問題はあるかも知れないが、ここでは同一品種として扱っておく。*Sieboldii* と *Sieboldiana* という種名は確かに間違い易く兩名を同属の別種に用いることは好ましくない。現行命名規約 23 条 Recom. 23 A.2 では同属にこのような両種名をつけるのを避けるよう勧告しているが、一方すでに発表された種名については旧 75 条 2 の例で *Lysimachia hemsleyana* と *L. hemsleyi* は混乱されない種名とされている。したがって Ingram の組合せをコバギボウシの正名と認めざるをえないと考える。

以上はコバギボウシの種名について命名上の問題を略述した。しかしすべての点で意見が一致しているのではない。*Aletris japonica* Thunb. の基準標本はコバギボウシであり、*Funkia albomarginata* と *Hemerocallis Sieboldii* はその園芸品種であるという点で、私をふくめ日本の研究者の意見は一致しているようにみえる。しかし Hylander (1954) は種を少し小さくみて、*Aletris japonica* はコバギボウシとは異なる種とみなし、スウェーデンで栽培されている一型をこれにあてている。そうしてコバギボウシには *Hosta albomarginata* (Hook.) を採用し、彼が *Aletris japonica* と考えた型には *Hosta lancifolia* Engl. (1888) を用いたが、この場合そのタイプは *Aletris japonica* Thunb. であるが、種名 *lancifolia* は Engler から初めて有効になる新名として採用した。Hylander が *H. lancifolia* とした型が何かは分り難いが、コバギボウシよりは大形になり花期がおそく、アキカゼギボウシにあてているが果は不稔と記しており、雑種起源のものである可能性が高い。ギボウシ類では 1830 年頃から Siebold が日本からヨーロッパへ送った栽培品に基づいて多くの学名が発表されている。したがって日本産の種名の問題を厳密に解明しようとする、古く栽培されていた園芸品種 (雑種をふくめ) を含めて、それと自生種との関係を一々明かにすることが不可欠になるが、これは今となってはなかなか困難な仕事である。

コバギボウシの白花品についても *Funkia lancifolia* var. *alba* Irving (1903) がこれにあたると思われるが、これは多分 Siebold が送ったものの一つではないかといわれている。そうするとこの形が日本で古くから栽培されていたことになるが、Hylander も指摘しているように、日本ではコバギボウシの白花品ははっきりした栽培の記録がなく、野生品は 1950 年以後になって記載されているのが不思議な感じがする。しかし東京大学には松村先生が 1879 年 8 月 4 日に会津で採られミズギボウシの白花と記された標本があり、本田先生が *H. japonica* f. *albiflora* Makino と同定されている。牧野先生が飯沼慾齋の草木図説増訂版で名づけられたシロバナミズギボウシも当時ミズギボウシの名がコバギボウシのやや葉の狭いものに用いられていたので、*H. longissima* Honda

の白花品ではなくコバギボウシの白花品とみられ、コバギボウシの白花品はかなり古くから知られていたと思われる。一方 *Funkia ovata* var. *spathulata* Miq. の forma β のところに '*Funkia japonica* flore albus Sieb.' の名が引用されていて、Siebold がコバギボウシの白花品を持ちこんでいたことをうかがわせる。

またコギボウシ (牧野 1910) については 牧野標本館にそれらしい標本がないので、前川博士がそれと同定された筑波山産の標本を新基準標本に選定した。コギボウシと呼ばれているものの中には、コバギボウシとオオバギボウシとの雑種もふくまれているかも知れない。

なおタチギボウシは、時にコバギボウシとの中間形が見られるが分布域もずれていて、私は変種として区別するのが妥当だと考える。その変種名には命名規約の最新版(1983)の57条3項により *rectifolia* を起用した。

Hosta Sieboldii (Paxton) J. Ingram in Bailey 15: 29, f. 1 (1967).

Aletris japonica Thunb. in Nov. Act. Reg. Soc. Sci. Upsal. 3: 204 & 208 (1780), p. p., excl. Joksan ex Kaempfer.

Hemerocallis japonica Thunb. ex Murray, Syst. Veg. 339 (May-Jun. 1784)—Thunb., Fl. Jap. 142 (Aug. 1784), excl. Kaemp.; non *H. japonica* Thunb. (1794).

Hemerocallis lancifolia Thunb. in Trans. Linn. Soc. 2: 335 (1794), nom. superfl.—Loddiges, Bot. Cab. 17: t. 1658 (1830), ut *lanceæfolia*.

Funkia lancifolia (Thunb.) Spreng., Syst. Veg. 2: 41 (1825), nom. superfl.

Hemerocallis Sieboldii Paxton, Bot. Mag. 5: 25, t. col. (Mar. 1, 1838).

Funkia albo-marginata Hook. in Bot. Mag. 65: t. 3657 (May 1, 1838).

Hosta japonica (Thunb.) Aschers. in Bot. Zeit. 21: 53 (1863); non *H. japonica* Trattinnick (1814).

Funkia spathulata Sieb. ex Miquel in Arch. Néerl. Sci. Exact. Nat. 4: 224 (1869), pro syn.

Hosta lancifolia (Thunb.) Engl., Pfl.-fam. II-5: 40 (1888)—Stearn in Gard. Chron. ser. 3, 90: 48 (1931)—F. Maekawa in Journ. Fac. Sci. Univ. Tokyo Bot. 5: 399 (1940).

Saussurea japonica (Thunb.) O. Kuntze, Rev. Gén. Pl. 2: 714 (1891); non *S. japonica* (Thunb.) DC. (1810).

Niobe japonica (Thunb.) Nash in Torrey 11: 4 (1911).

Hosta japonica (Thunb.) Voss in Vilmorin, Blümgartn. ed. 3, 1: 1076, n. 3405 (1895), ut *Hostia*—Bailey in Gent. Herb. 2: 129, f. 65 (1930).

Funkia japonica (Thunb.) Druce in Rep. Bot. Exch. Club Brit. 1916: 623 (1917).

Funkia japonica (Thunb.) Koidzumi in Bot. Mag. Tokyo 39: 307 (1925).

Hosta albomarginata (Hook.) Ohwi in Acta Phyt. Geobot. 11: 265 (1942)—Hylander in Del. Sem. Hort. Gotob. 1945: 3 (1945); in Acta Hort. Berg. 16: 407 (1954)—N. Fujita in Acta Phyt. Geobot. 27: 85 (1976).

var. **Sieboldii** f. **Sieboldii**

Hemerocallis Sieboldii Paxton, l. c. (Mar. 1838).

Funkia albo-marginata Hook., l. c. (May 1838).

Funkia ovata Spreng. γ . *albomarginata* (Hook.) Miquel, Ann. Mus. Bot. Lugd.-Bat. 3: 153 (1867).

Hosta japonica var. *albomarginata* (Hook.) Aschers. et Graebn., Synop. Fl. Mitt.-Europ. 3: 55 (1905).

Hosta coerulea f. *albomarginata* (Hook.) Matsumura, Ind. Pl. Jap. 2(1): 199 (1905).

Hosta japonica f. *albomarginata* (Hook.) Makino in Makino et Nemoto, Fl. Jap. 1261 (1925).

H. lancifolia var. *albo-marginata* (Hook.) Stearn in Gard. Chron. ser. 3, 90: 48 (1931).

H. lancifolia var. *Thunbergiana* f. *albo-marginata* (Hook.) F. Maekawa in Journ. Fac. Sci. Univ. Tokyo Bot. 5: 403, phot. 82 (1940).

H. lancifolia var. *Thunbergiana* f. *Sieboldii* (Paxton) F. Maekawa in Ishii, Engei-daijiten 2: 638 (1950).

For further synonyms see F. Maekawa, l. c. 403 (1940).

Nom. Jap. Heritori-gibōshi (Makino & Tanaka 1928), Fukurin-gibōshi (Maekawa 1940).

var. *Sieboldii* f. **alba** (Irving) Hara, comb. nov.

Funkia lancifolia [var.] *alba* Irving in the Garden 64: 297 (1903).

Hosta japonica var. *angustifolia* Aschers. et Graebn. f. *albiflora* Makino in Inuma, Sōmoku-dzusesetsu ed. Makino, 2: 467 (1910)—Makino et Nemoto, Fl. Jap. 1261 (1925). Lectotype: Honshu, Aizu (J. Matsumura, Aug. 4, 1879, fl., TI).

H. lancifolia var. *Thunbergiana* f. *albiflora* F. Maekawa in Ishii, Engei-daijiten 2: 639 (1950), sine descr. latin.

H. albomarginata var. *alba* (Irving) Hylander in Fören. Dendr. Årsboek Lustgård 1953: 45 (1953); in Acta Hort. Berg. 16: 410, t. 19. upper, left (1954).

H. lancifolia var. *Thunbergiana* f. *albiflora* Ikegami in Journ. Jap. Bot. 32: 128 (1967). Type: Honshu, Fukushima, Shirasaka (Y. Ikegami n. 27652, TNS).

Nom. Jap. Shirobana-mizugibōshi (Makino 1910), Shirobana-kogibōshi (F. Maekawa 1950).

var. *Sieboldii* f. **Kabitan** (F. Maekawa) Hara, comb. nov.

Hosta lancifolia f. *Kabitan* F. Maekawa in Journ. Jap. Bot. 13: 894 (1937); l. c. 403, phot. 78 & 79 (1940), sub var. *Thunbergiana*.

H. albomarginata f. *Kabitan* (F. Maekawa) Ohwi in Acta Phyt. Geobot. 11: 265 (1942).

Nom. Jap. Kabitan-gibōshi (fide Iwasaki).

Lectotype: Cult. in Hort. Bot. Kyoto, no. 15 (F. Maekawa, Aug. 20, 1936, fl., TI).

var. *Sieboldii* f. **lancifolia** (Miquel) Hara, comb. nov.

Aletris japonica Thunb., l. c. (1780), excl. Kaempf.

Hemerocallis lancifolia Thunb., l. c. (1794), nom. superfl.

Funkia ovata Spreng. var. g. *lancifolia* (Thunb.) Miquel in Arch. Néerl. Sci. Exact. Nat. 4: 224 (1869).

Funkia ovata var. f. *spathulata* Miquel, l. c. 224 (1869).

Hosta coerulea f. *lancifolia* (Thunb.) Matsumura, Ind. Pl. Jap. 2(1): 199 (1905).

H. lancifolia var. *Thunbergii* Stearn in Journ. Bot. 70: suppl. 15 (1932), in textu—F. Maekawa, l. c. 399 (1940), ut *Thunbergiana*.

H. albomarginata Ohwi f. *lancifolia* (Miq.) Ohwi, l. c. 265 (1942).

Nom. Jap. Koba-gibōshi (fide Inuma).

Type: Japonia (Thunberg, fl.—lectotype of *Aletris japonica* Thunb. in UPS).

var. *Sieboldii* f. **mediopicta** (F. Maekawa) Hara, comb. nov.

Hosta lancifolia var. *Thunbergiana* f. *medio-picta* F. Maekawa, l. c. 403, phot. 80 & 81 (1940).

H. albomarginata f. *medio-picta* (F. Maekawa) Ohwi, l. c. 365 (1942).

Nom. Jap. Kisuji-gibōshi (F. Maekawa 1940).

Lectotype: Tokyo, Amanuma, cult. (F. Maekawa, Sep. 5, 1936, fl., TI).

var. *Sieboldii* f. **Okamii** (F. Maekawa) Hara, comb. nov.

Hosta Okamii F. Maekawa [in Bot. Mag. Tokyo 52: 41 (1938), nom. nud.] l. c. 398 (1940).

H. lancifolia var. *Thunbergiana* f. *Okamii* (F. Maekawa) F. Maekawa in Ishii, Engei-daijiten 2: 639 (1950).

Nom. Jap. Murasame-gibōshi (F. Maekawa 1938).

Typus: Cult. in Tokyo, ex Yoshio Okami (F. Maekawa, Sep. 21, 1936, fl., TI).

var. *Sieboldii* f. **polycarpellata** (F. Maekawa) Hara, comb. nov.

H. lancifolia var. *Thunbergii* f. *polycarpellata* F. Maekawa in Journ. Jap. Bot. 20: 28 in adnota, f. 4 & 5 (1944).

Nom. Jap. Yatsubusa-gibōshi (F. Maekawa 1944).

var. *Sieboldii* f. **subchrocea** (F. Maekawa) Hara, comb. nov.

Hosta lancifolia var. *Thunbergiana* f. *subchrocea* F. Maekawa, l. c. 403 (1940).

H. albomarginata f. *subchrocea* (F. Maekawa) Ohwi, l. c. 265 (1942).

Nom. Jap. Shirokabitan-gibōshi (F. Maekawa 1940).

Hosta Sieboldii var. **intermedia** (Makino) Hara, comb. nov.

Hosta japonica var. *intermedia* Makino in Inuma, Sōmoku-dzusetsu ed. Makino, 2: 464 & 465 (1910)—Makino et Nemoto, Fl. Jap. 1262 (1925), cum descr. jap.

H. intermedia (Makino) F. Maekawa in Bot. Mag. Tokyo 52: 41, f. 1 (1938), comb. nud.

H. lancifolia var. *intermedia* (Makino) F. Maekawa in Ishii, Engei-daijiten 2: 639 (1950), cum descr. jap.

Nom. Jap. Ko-gibōshi (Makino 1910).

Neotype of *Hosta japonica* var. *intermedia* Makino: Honshu. Mt. Tsukuba, cult. in Tokyo (F. Maekawa, Aug. 1935, fl., TI).

Hosta Sieboldii var. **rectifolia** (Nakai) Hara, comb. nov.

Hosta rectifolia Nakai in Bot. Mag. Tokyo 44: 26 & 58 (1930)—F. Maekawa, l. c. 410 (1940)—Stearn in Bot. Mag. n. s. t. 138 (1951)—Hylander in Acta Hort. Berg. 16: 406, t. 21 right (1954)—Ko. Ito in Journ. Geobot. Hokuriku 17: 91 (1969)—Czerepanov, Addit. Corr. Fl. URSS. 332 (1979).

Funkia ovata Spreng. sensu Czerniakovska in Fl. URSS. 4: 54 (1935).

Hosta sachalinensis Koidzumi in Acta Phyt. Geobot. 5: 40 (1936).

H. rectifolia var. *sachalinensis* (Koidzumi) F. Maekawa, l. c. 413 (1940).

Nom. Jap. Tachi-gibōshi (Nakai 1930).

var. *rectifolia* f. **albiflora** (Tatewaki) Hara, comb. nov.

Hosta rectifolia f. *albiflora* Tatewaki in Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 13: 111 (1934)—F. Maekawa, l. c. 413, phot. 95 (1940), sub var. *chionea*—Ko. Ito in Journ. Geobot. Hokuriku 17: 92 (1969).

Nom. Jap. Shirobana-tachigibōshi (Tatewaki 1934).

var. *rectifolia* f. **chionea** (F. Maekawa) Hara, comb. nov.

H. rectifolia var. *chionea* F. Maekawa in Journ. Jap. Bot. 14: 45 (1938); l. c. 413, phot. 94 (1940).

H. rectifolia f. *chionea* (F. Maekawa) F. Maekawa in Ishii, Engei-daijiten 2: 637 (1950).

Nom. jap. Ginbuchi-tachigibōshi (F. Maekawa 1938).

Neotype: cult. in Kyoto Bot. Gard. (F. Maekawa, Aug. 20, 1936, fl., TI).

var. *rectifolia* f. **pruinosa** (F. Maekawa) Hara, comb. nov.

Hosta rectifolia f. *pruinosa* F. Maekawa, l. c. 413 (1940)—Ko. Ito in Journ. Geobot. Hokuriku 17: 92 (1969).

Nom. Jaap. Tonoko-tachigibōshi (F. Maekawa 1940).

Letotype: Hokkaido, Higashi-kushiro (F. Maekawa n. 8, Aug. 2, 1937, fl., TI).

var. *rectifolia* f. **atropurpurea** (Nakai) Hara, comb. nov.

Hosta atropurpurea Nakai in Bot. Mag. Tokyo 44: 26 & 58 (1930)—F. Maekawa, l. c. 410 (1940).

H. rectifolia f. *atropurpurea* (Nakai) Nakai ex F. Maekawa in Ishii, Engei-daijiten 2: 637 (1950).

H. rectifolia var. *atropurpurea* (Nakai) Tatewaki et S. Kawano [in Tatewaki et Samejima, Alp. Pl. Cent. Mt. Dist. Hokkaido 21 (1956), comb. nud.] ex Ko. Ito in Journ. Geobot. Hokuriku 17: 90 (1969).

H. rectifolia subsp. *atropurpurea* (Nakai) Inagaki et Toyokuni in Rep. Taisetsu Inst. Sci. 2: 17 (1963).

Nom. Jap. Kurobana-gibōshi (Nakai 1930).

var. *rectifolia* f. **leucantha** (Ko. Ito) Hara, comb. nov.

Hosta atropurpurea f. *albiflora* Tatewaki in Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 13: 111 (1934).

H. rectifolia var. *atropurpurea* f. *leucantha* Ko. Ito in Journ. Geobot. Hokuriku 17: 91 (1969).

Nom. Jap. Shirobana-yachigibōshi (Tatewaki 1934).

55) コヤブミョウガ 本種はヤブミョウガに似ているが、各部が小形であるばかりでなく花序が短く花枝は輪生しないで集散状になり、別種と考えられる。本田博士(1931)がヤブミョウガから区別して新種にされた時には雄蕊についてはふれてないが、私が調べた屋久島、沖縄、台湾のものはどれも雄蕊はヤブミョウガと同じく6本であった。ところが初島博士は1958年頃から琉球のものを、花序の形が似ているためか、*Pollia*

secundiflora (初めは *P. sorzogonensis* の名で) にいれられた。しかし後者では雄蕊が 3 本と仮雄蕊が 3 本あり、別の節(又は別属)にはいる大形のもので、東南アジアに広く分布している別種である。台湾植物誌第 5 卷 (1978) では *P. minor* が正しく理解されていて、雄蕊 6 本のコヤブミョウガが図解されている。真の *P. secundiflora* (Bl.) Backer (ザルゾコミョウガ) は台湾に分布し、石垣島にも産するようだが、他の琉球列島では未確認である。

一方、私は最近ユキザサ属を検討中に、中国から記載された *Tovaria miranda* Lév. の正体を確かめようと思いエジンバラ植物園へ問合せたところ、タイプは見当たらないとの返事があり、またパリーにもないことが分った。しばらくしてエジンバラから更に探したところ予期に反しツククサ科の *Pollia* 属の標本の中から問題のタイプを見出したといって標本を送ってくれた。この標本 (Fig. 3) は *Pollia secundiflora* と同定されていたが、一見コヤブミョウガによく似ているので蕾を解剖してみると雄蕊は 6 本あった。そこで中国の文献をあたってみると *P. omeiensis* Hong (1974) がこれとよく一致し、その原記載には台湾の標本も引用されており、それがコヤブミョウガに外ならないことを知った。中国ではこれまで四川、雲南、貴州、広西から知られているが、台湾に普通なことから多分香港、広東、福建などにも分布しているのではないかと思う。以上をまとめると次のようになる。

***Pollia miranda* (Lév.) Hara, comb. nov. (Fig. 3).**

Pollia japonica Thunb. sensu Matsumura in Bot. Mag. Tokyo 12: 1 (1898)—Ohwi, Fl. Jap. 268 (1953), p. min. p.; ed. Eng. 270 (1965), p.p.

P. Zollingeri C.B. Clarke sensu N.E. Brown in Journ. Linn. Soc. 36: 159 (1903).

Tovaria miranda Lév. in Mem. Pont. Accad. Rom. Nuovi Lincei 23: 361 (1905).

Pollia minor Honda in Bot. Mag. Tokyo 45: 2 (1931)—Masamune in Mem. Fac. Sci. & Agr. Taihoku Univ. 11: 539 (1934)—K.-S. Hsu in Fl. Taiwan 5: 174, f. 1311 (1978).

P. japonica var. *minor* Hayata [ex Honda, l.c. 2 (1931), pro syn.] ex Masamune in Sci. Rep. Kanazawa Univ. 5: 96 (1957)—Kitamura et al., Col. III. Herb. Pl. Jap. 3: 173 (1964)—E. H. Walker in Journ. Jap. Bot. 46: 67 (1971); Fl. Okinawa 295 (1976), p.p.

P. secundiflora Bakh. f. sensu Hatusima, Fl. Ryukyu 768 (1971), saltem p.p.—Ohwi et Kitagawa, New Fl. Jap. 369 (1983).

P. omeiensis D.Y. Hong in Acta Phytotax. Sin. 12: 466, t. 90 (1974)—Icon. Cormophyt. Sin. 5: 396, f. 7622 (1976)—Fl. Yunnan. 3: 687 (1983).

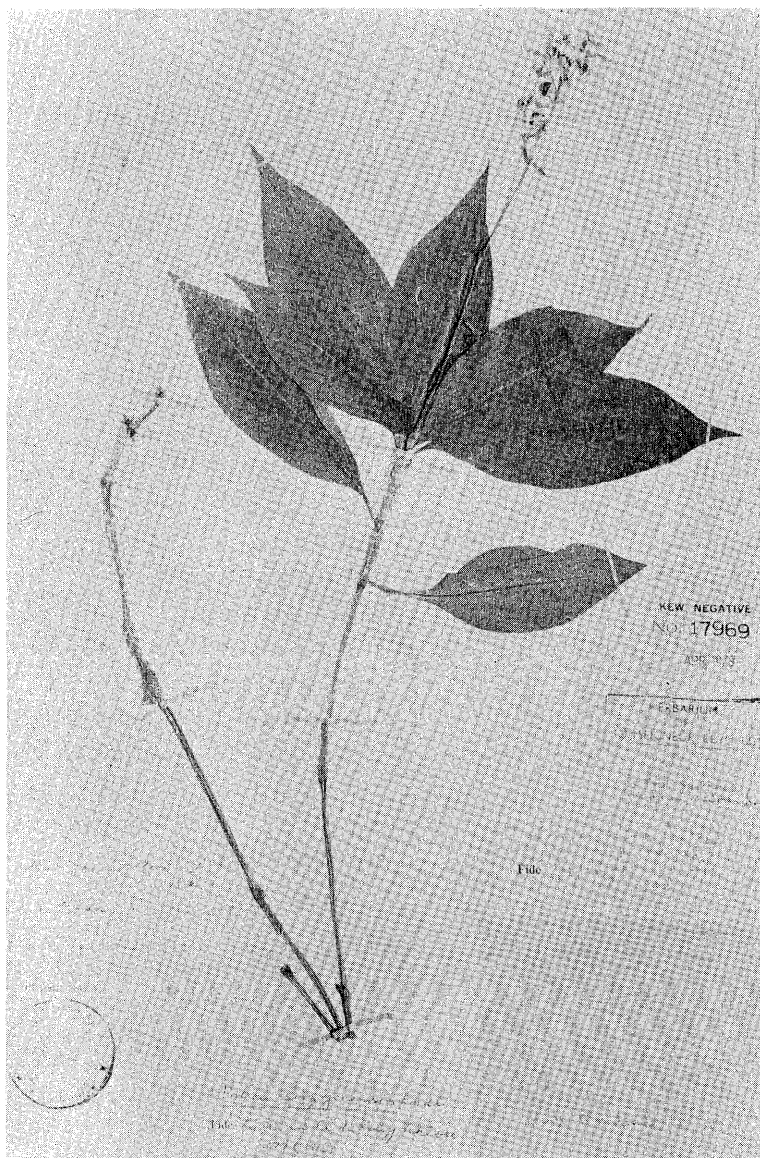


Fig. 3. *Tovarira miranda* Lév. Holotype (E).

Distr. SW. China (500–800 m), Taiwan (500–1600 m), Ryukyu, and southern-most Kyushu.

Selected specimens.

China. Kweichow; Mei-tóung-chān (E. Bodinier n. 496, Jul. 20, sine anno, fl.—type of *Tovaria miranda* Lév., E).

Taiwan. sine loco speciale (B. Hayata—lectotype of *Pollia minor* Honda, TI); Shinten (T. Tanaka & Y. Shimada n. 11127, Jun. 17, 1932—isoratotype of *P. omeiensis* Hong, TI); m. Taipingshang, Ilan (T. Namba et al. n. 2663, Sep. 6, 1968, fr., TI); Tengchih, Kaohsung (T. Yamazaki et al. n. 1044, Aug. 29, 1969, TI).

Ryukyu. sine loco speciale (J. Matsumura, May 1897—syntype of *P. minor*, TI); Okinawa (T. Miyagi—syntype of *P. minor*, TI); Kunigamison (Y. Miyagi n. 8489, May 6, 1978, fl., TI); Goekū—Ugan (E.H. Walker & S. Tawada n. 5878a, Jun. 28, 1951, fr., TI).

Kagoshima. Amami-Ōshima: Sumiyō (Y. Tashiro n. 2, Sep. 1887—syntype of *P. minor*, TI); m. Yuwan-dake (T. Ohba n. 17988, Apr. 11, 1961, TI). Is. Okinoerabu (M. Tagawa & K. Iwatsuki n. 2255, Aug. 5, 1958, fr., TNS). Is. Yakushima: Itssoo (K. Mayebarā & Z. Tashiro n. 394, Aug. 5, 1923, fr.—syntype of *P. minor*, TI); Nakama (K. Enomoto, Jun. 1967, TI). Koshiki-jima: Sato-mura (Z. Tashiro, Mar. 28, 1913, fr., TI). Oshita, Ibusuki (Z. Tashiro, Aug. 25, 1924, TNS).

The holotype of *Tovaria miranda* Lév. was kindly sent on loan from Royal Botanic Garden of Edinburgh. So I could examine a detached flower-bud in a packet pasted to the sheet, and noticed that the flower has 6 fertile stamens. Also it is noteworthy that a remark with a pencil on the label says 'native qu' á Hong Kong' and the plant may be brought from Hongkong. The type specimen was identified as *Pollia secundiflora* (Bl.) Bakh. f. by R.B. Faden in 1978, but it has 6 fertile stamens, and seems to be conspecific with *Pollia minor* Honda and *P. omeiensis* Hong. Some plants of Taiwan including the lectotype of *P. minor* Honda are small and slender with narrow leaves, but some other syntypes are much larger with broad leaves, and agree well with the types of *Tovaria miranda* and *Pollia omeiensis*. Finally I wish to express my thanks to Mr. D.R. McKean for his kindness in looking for the type of *Tovaria miranda* in the herbarium.